理数物理　生徒アンケート　１年９組

本校総合理学科の物理の授業は、普通科と異なる授業展開で教育効果を上げようとするものです。これは本校の SSH 研究開発事業の一環として実施されたものでもあります。特徴は次の３つです。

１．少人数授業（1, 2 年次）

１クラスを 20 人ずつに分け、そのそれぞれを１人の教員が担当する。

２.「理数物理」の履修

普通科は物理基礎 → 物理の展開であるが、物理学の 5 つの分野（力学、熱学・熱力学、波動、電磁気学、原子物理学）ごとに履修し、物理学の体系を重視した展開を行って各分野を深く学ぶ。

３．探究活動を重視した実験・演習(時数の関係で１年次での理数物理では取り組まず)

以下の質問項目について１年間の理数物理の授業を通して感じたことを、素直にそのまま記入して下さい。…回収 38 名

(1)少人数授業はあなたにとってどうでしたか。

① 大変よかった	② よかった	③ どちらでもない	④ よくなかった	⑤ 大変よくなかった
10(26.3%)	21(55.3%)	7(18.4%)	0	0

(2)物理学の体系を重視した授業展開はあなたにとってどうでしたか。

① 大変よかった	② よかった	③ どちらでもない	④ よくなかった	⑤ 大変よくなかった
16(42.1%)	13(34.2%)	7(18.4%)	2(5.3%)	0

(3)授業の進度はあなたにとってどうでしたか。

① 大変速い	② 速い	③ どちらでもない	④ 遅い	⑤ 大変遅い
3(7.9%)	10(26.3%)	24(63.2%)	1(2.6%)	0

本校 SSH 事業は次の表に示す８つの力の育成に主眼をおいています。理数物理の授業を通して、伸ばすことができたと思う項目番号に〇をつけてください。（複数可、なければ無印可）…回収 38 名

● 問題を発見する力

1a：既習分野の基礎知識が多い　16

1b：事実と意見・考察を区別できる　10

1c：自分がわからない点、知らない点を説明できる　13

● 未知の問題に挑戦する力

2a：自らの課題に意欲的に努力することができる　25

2b：問題点の関連から取り組む順序－戦略－を考えることができる　12

● 知識を統合して活用する力

3a：データに関連性を見いだし構造化（箇条書き・分類・図式化等）ができる　15

3b：分析や考察に適宜必要な機器やソフトウエアを使うことができる　8

● 問題を解決する力

4a：論理の一貫性を意識したレポート・報告書を作成することができる　13

4b：問題解決に関する方法論の知識が多い　7

● 交流する力

5a：人と積極的にコミュニケーションをとることができる　14

5b：協同学習・協同作業の場において責任と義務が自覚できる　10

● 発表する力

6a：必要な情報を抽出・整理した発表資料を作ることができる　10

6b：発表の効果を高める工夫ができる　10

● 質問する力

7a：疑問に思う内容を、質問を前提にまとめることができる　10

7b：自分から発言を求めることができる　5

● 議論する力

8a：あらかじめ論点に繋がりそうなことを準備できる　14

8b：発表や質問に応答して議論を進めることができる　5

伸ばすことができたと感じたのは授業のどのような場面でしたか。（あれば記述）

項目番号	伸ばすことができたと感じた場面
3a	物事の要素を抽象化してモデル化するときに，物理で問題を解くときと同じようにすれば上手くいったとき。
2a	授業の内容を授業時間中に理解できなかった時，家でしっかりと自分のものにするまで勉強するくせがついた。
2ab	教科書に書いてある順番通りではなく分りやすいようにしてくれているので，体系的に情報処理することができるようになっていると思う。
4b	先生によって授業中に出された問題について解決しようと努力した場面。
1c,7a	難しいと感じた内容をどの点が分からないのかということを考えまとめることができるようになった。
2b	問題集
2a	なぜその式が生まれたのか，根本から説明してもらえたので，以前よりも課題や問題に粘り強く考えられるようになった。
2a	定期テストや初めて見る問題を解いたとき。
1c,2a	法則や現象の理由，メカニズムの説明を考えたとき
1abc	授業の中で練習問題の解説があって、その授業の復讐をすることができた。
1a2a	テストや授業の内容が難しかった分，自分から課題に取り組む意欲が出ました。
1abc4b	新たな知識を得たとき
4b	授業で公式を導き出すとき

自由記述(授業への要望や感想など、あれば)

略